田原公民館報

平成27年
9月号

発行
公益財団法人
奈良市生涯学習財団
田原公民館
奈良市茗荷町1078－1
ＴＥＬ　81-0888
発行責任者
泉森　由貴

「おはぎとぼた餅」

館長　泉森（いずもり）　由貴（よしたか）

ペルセウス座流星群が今年もやってきました。涼しい高原の夜は星空を眺めるのに、とても良い環境です。ハンモックに揺られながら、虫の音をバックに流れ星を楽しむ。そんな優雅なことをしてみたいものです。もちろん蚊はいますので最近流行の一人用の蚊帳（かや）を使うのもいいかもしれません。

絵　平古力三

9月になりました。田原は平地より早く実りの季節を迎えます。まだ蝉の鳴き声がやまないうちから、稲刈りの準備が始まります。西日に照らされた稲穂は行儀良く並んでお辞儀をしているようです。なんとも美しい田園の風景です。そんな夕日と朝日の話。田原には「朝日の野菜、夕日の米」という言葉があるようです。朝日をたくさん浴びた野菜は美味しく、夕日をたくさん浴びた米は美味しいという云われだそうです。即ち、東向きの斜面は田を作るのにいいとの話。なるほど、高原にあってすり鉢状の地形は必ず平坦な土地より斜面になるところが多くできます。その土地や地形に合った作物を育てるということも蓄積された知恵と経験から生み出されてきたのです。夕日に映える黄金の絨毯もそんなことを意識してみると違って見えてきます。水分をたくさん含んだ新米の炊きたてご飯。白い湯気が立ちこめるあの一杯が待ち遠しいものです。

9月は秋の彼岸があります。今年は少し長めの5連休。新米を炊いて連休を家族で過ごすのもいいですね。さて、そんなときに供えるのは、ぼた餅でしょうかおはぎでしょうか。実はこの二つ。同じあんころ餅です。ではなぜ呼び方が違うのか。それは春の彼岸に咲く花が牡丹。だから牡丹の餅でぼた餅。萩の花が咲く秋はおはぎ。諸説あるようですが、昔の人は同じものを季節に似合うように言い分けていたんですね。

どんなことも背景にあるものを知ると見え方が変わるものです。知的好奇心とはこんな小さな事がらから生まれてくるものです。公民館で得た知識が生活に潤いを与えるというのはそういうことなのかも知れません。学びの発信地、田原公民館はそんな皆さんをお待ちしています。

賑やかな歓声が響き渡った「まるまる一日デイキャンプin田原」

8月6日、都祁、柳生、月ヶ瀬、興東、田原の小学生が集まって、今年もデイキャンプを実施しました。今年度で4回目になったこの事業。今年は野外活動センターのない田原の当番。いつもの公民館をベースに実施することになりました。

ずっと心配していた天気は良好。子どもたち76人と田原地域の方、地域おこし協力隊、ボランティアリーダー、職員が一堂に会して賑やかにスタートしました。自己紹介ゲームに始まって、竹を切って器と箸を作るクラフト。白砂川での水遊び。スイカ、綿菓子のおやつタイム。流しそうめんと豚汁おにぎり作り。こわーい話と楽しい話。和田町のお宮さんまで肝試し。クライマックスの盆燈会とファイヤーパフォーマンス。たくさんのお茶をのんで、たくさんの汗をかき、真っ黒に日焼けした子どもたちのたくさんの笑い声が田原の空に響きました。

名残惜しそうに退所式を終えた子どもたちはキラキラした目で帰って行きました。

気持ちよかった！川遊び

上手に器と箸ができました

全長１７ｍの流しそうめん

きっと夏休みの大きな思い出になったことでしょう。すべて一から手づくりしたこのキャンプ。竹の準備から当日の運営に協力してくださった方。白砂川の水遊びを準備してくださった方。お宮さんや駐車場の使用にご協力いただいた方。地元田原をあげてのバックアップによって成功することができました。子どもたちも将来、次の世代へこの素晴らしい環境とおもてなしの気持ちを伝えていってほしいものです。田原の懐の深さを再認識した一日でした。

LEDの盆燈会の様子

引き続き募集します！

田原公民館では、引き続き秋の文化祭で実施予定の「田原今昔写真展（仮称）」の写真を募集しています。個人の記念撮影や集合写真、何気ない風景写真など、種類や年代を問いませんので、是非お借しください。11月の文化祭直前までならいつお持ちいただいても結構です。写真の原本はコピーしてすぐにお返しいたします。皆さんにもお声がけをお願いします。

田原村役場

田原地区地域おこし協力隊のコーナー

田原地区で地域おこしに奔走する協力隊がこの田原公民館報に日々の活動のあれこれを連載することになりました。

第1回「地域おこし協力隊とは」

みなさんこんにちは。地域おこし協力隊の瀬戸山です。「地域おこし協力隊」？一体何ぞや、と思われている方も多いことと思いますので、少しだけ説明をさせてくださいね。

もともと、総務省の地方創生施策の一環として平成21年度から始まった事業で、なにをするのかといえば「奈良市が都市住民を受け入れ委託。地域おこし活動の支援など「地域協力活動」に従事してもらい、あわせてその定住、定着を図りながら地域の活性化につなげる」とあります。平成26年度、日本全国で「地域おこし協力隊」は約千五百名。任期は3年で、私たち「奈良市地域おこし協力隊」は昨年9月にこの奈良に来ましたのであと2年となります。田原には私、瀬戸山と佐伯。えっそんな人がいるなんて！全然知らなんだ、という方もたーくさんいるかと思います。この1年、主に何をしていたか紹介をさせてください。

まずは、こうして原稿を書かせてもらっている縁で、田原公民館さんとはとてもたくさん関わらせていただいています。プチ田舎暮らし、田原ファン倶楽部をはじめとした公民館事業へスタッフとして参加させていただくことにより、特に「田原やま里博物館」の館長さんたちとお話する機会をたくさん頂きました。そして「田原やま里市場」への関わりです。7月から水曜もオープンしていますが、店番をしています。そしてリニューアル会議への参加や数々の作業。最近、市場の横に木の枠組みのすてきな屋根ができたのですが、見て頂いた方も多いと思います。地域の方とともに作業を行い、真夏の炎天下になる前に完成させることができたのです。おかげさまでとっても過ごしやすくなりました！

地域おこし協力隊の事業として8月には事務所のある旧興東中学校でサマーキャンプを行い、9月は田原やま里市場を拠点のひとつとしてレンタサイクルを行います。この田原の良さを広め、来てみたいな、田原の暮らしが知りたいなと思ってくれる方がひとりでも増えますようにという想いで日々、奮闘しています。

これから毎月、田原公民館報で私たちの活動の様子を連載させていただくことになりました。がんばって記事を書いていきますので、宜しくお願いします。ここまで読んでいただき、ありがとうございました。

主催講座「親子なかよし いきものがかり」8月22日に実施しました

夏休みの親子向け講座の定番となりました、親子なかよしシリーズ。昨年は染色の体験をしましたが、今年は橿原市の昆虫館より学芸員の島田先生をお迎えして、田原の夏のいきもの観察に出かけました。まずは昆虫館の展示物のヘラクレスオオカブトやニジイロクワガタ、オオクワガタをみてその迫力に子どもたちはびっくり。でもすぐに慣れて触れあっていました。その後、里山散策に出かけ、少し秋の気配がする田原をのんびり歩いて、虫たちを探しました。車では入れないような細い道や、草むら。ため池などを見つけて、飛び交う虫たちを虫取り網で夢中で追いかけていました。この日だけでも10種類以上の虫たちを捕まえたり触ったりした子どもたち。同じトンボでもたくさんの種類がいることをあらためて知りました。そんな子どもたちの感想は▼かえると遊べて楽しかった。▼虫を見つけるのが楽しかった。▼カラスアゲハをつかまえれて良かった。▼カマキリをくれたのが良かった。▼色々な虫がいて面白かったです。また、色々な虫を見つけたいです。来年の夏休みはどんなことしようかな。親も童心にかえった夏の一日でした。

昆虫館の展示物に歓声

里山散策へ、出発です

９月の公民館行事とその他のお知らせ

3日（木）第1回 プチ田舎暮らし・田原―白菜作り―
9日（水）第6回 チャレンジ和太鼓
11日（金）田原まち創り講座　方言調査編①
12日（土）第4回 TAWARAキッズ
　　田原まち創り講座　方言調査編②③
13日（日）田原まち創り講座　方言調査編④⑤
19日（土）第3回 田原ファン倶楽部
21日（月）～23日（水）まで敬老の日：国民の休日
　　：秋分の日のため公民館は休館です。
25日（金）第4回 老春塾
26日（土）田原小中学校運動会
30日（水）第7回 チャレンジ和太鼓

旬の野菜でごちそうランチ

旬の野菜を使ったバランスの良いメニューを作りましょう！
日　時：9月18日(金)　午前9時半～午後1時半
場　所：都祁保健センター　℡ 0743-82-0341
持ち物：エプロン、手ふきタオル、三角巾、筆記用具
費　用：500円　●申込み締め切り：9月10日(木)まで

奈良市東部公民館共催 生涯学習フェスタ（仮称）今年度開催

決定！田原公民館　興東公民館　柳生公民館
都祁公民館　月ヶ瀬公民館の５館で開催する公民館で学ぶ皆様の祭典です。会場は月ヶ瀬公民館です！